

工夫とアレンジを楽しみながら、
暮らしの知恵と技を磨きます。

みんなの 「家庭科」

食べもの、着るもの、住まい、暮らしのあれこれ。
お金を出せば便利なものはいくらでも手に入るけれど必要なものを、「買う」だけでなく、自分で「つくる」ことができれば、きっと心強い。
「丁寧で上質な暮らし」でも「サバイバル」でもない、みんなができることだから、「家庭科」としました。



うかたま
季刊[秋]2024 vol.76